

ドクター1^{ワン}エース

高強度・一材型
ファイバー入り

壁・床面の両方に対応可能なカチオン性高強度ポリマーセメントモルタルです。

ドクター1エースは練り水の量を調整するだけで、壁面施工から床面施工まで対応可能なカチオン性再乳化粉末樹脂一材型のポリマーセメントモルタルです。汎用性が高く、強力な接着力を発揮します。

特 長

● 本製品ひとつで壁・床面の両方に対応可能です。

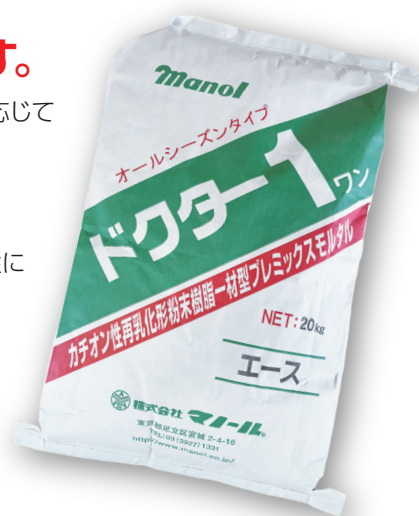
練り水の量を調整するだけで、壁面施工から床面施工まで対応可能です。用途に応じて施工性を選べる汎用性の高い製品です。

● 作業性・接着性に優れた高強度タイプです。

カチオン性再乳化粉末樹脂が既調合の為、水で練るだけで容易に作業性・接着性に優れた高強度タイプのカチオン性ポリマーセメントモルタルとなります。

● 気温0℃まで施工可能です。

特殊プレミックスモルタルの為、秋期から冬期において気温0℃まで対応可能です。
※氷点下で使用される場合はお問合わせください。



種類・荷姿・用途

種 類	荷 姿	用 途	水 量	練上り量	塗 厚
エース 〈重骨タイプ〉	20kg袋	壁面欠損部補修 床面厚塗り補修	3.0~4.0kg	約11ℓ~12ℓ	5~60mm ※1回あたりの塗厚：5~15mm

※ 練混ぜ水量は、施工時の気温や施工箇所・方法により変動します。上記の範囲内で調整をしてください。

参考：一般的に練混ぜ水量は床面施工時は多く、壁面施工時は少なくなります。また、夏期高温時は多く、冬期低温時は少なくなります。

※ 施工後は表面硬化を確認した後、散水養生を行ってください。養生不足やドライアウトは、硬化不良および接着不良の原因となるおそれがあります。特に高温・低温・強風などの環境下では十分な養生を行ってください。

性能試験

※下記の試験結果は参考基準値であり、保証値ではありません。

圧縮強度(N/mm ²)			曲げ強度(N/mm ²)			接着強度 (N/mm ²)	
3日	7日	28日	3日	7日	28日	7日	28日
28.0	37.0	58.0	3.0	5.5	8.0	1.9	2.4

※ 圧縮強度、曲げ強度の試験方法はJIS R5201に準じ、鋼製三連型枠40mm×40mm×160mmを使用。
φ50×100mmの円柱供試体の場合は、この試験結果よりも低くなる場合があります。
接着強度の試験方法はJIS A1171に準じます。

※ 上記試験結果は水/粉体比が17.5% (粉体20kgに対して水量3.5kg) にておこなった参考例です。
試験結果は水量の増減、環境条件、試験体の形状や採取状況及び養生により異なります。

使用法

1. 下地処理

- ☆下地面のレイトランス、劣化部分、ほこり、油分、汚れ、付着物等はワイヤーブラシ、サンダー等で除去してください。
- ☆クラック部分及び著しい不陸箇所は、塗付け前に適切な処理を行ってください。
- ☆塗付け箇所には下地を乾燥後、吸水調整材としてマノールアクリットの3～5倍希釈液（アクリット1：水2～4）を塗布してください。
低温時や下地の劣化が激しい場合は、状況に応じてプライマーコートACを塗布してください。
- ※コンクリート・モルタル面以外の下地や劣化の激しい下地についてはお問合せください。
- ☆鉄筋露出部へはケレン・清掃後、マノール防錆剤ASを塗布してください。

2. 混練（標準調合）

- ☆ドクター1エースと水を標準調合に従い、ハンドミキサー等で3分間混練してください。
- ☆練り混ぜ水量は、施工時の気温や施工箇所・方法により変動します。標準仕様の範囲内で調整をしてください。
- 参考：一般的に練り混ぜ水量は床面施工時は多く、壁面施工時は少なくなります。また、夏期高温時は多く、冬期低温時は少なくなります。
- ※アルミ製の羽根は使用しないでください。
- ※10℃を下回る低温時はぬるま湯などを用いて練上がり温度が10℃以上となるよう調整してください。
- ※30℃を上回る高温時は冷水や氷水などを用いて練上がり温度が30℃以下となるよう調整してください。

3. 塗り付け

- ☆吸水調整材の塗布後、混練りしたドクター1を塗付けます。
- ☆1層目の塗厚は5mm以内とし、鏝圧をかけながら下地にしごき付けてください。その後、追いかけ施工で所定の厚さになるように塗付けてください。その際の1回あたりの塗厚は10mm程度で塗り重ねてください。
- ※壁面における1日の塗厚の目安は30mmまでとし、塗厚30mmを越える場合には2日以上に分けて塗付けてください。
- その際の施工間隔は夏期1日、冬期3日以上を目安としてください。
- ※大きな欠損部(W:300×L:300×t:25mm以上)は落下防止のため、ステンレスアンカーボルト・溶接金網および金網止め座金を併用してください。



ドクター1 エース塗付け状況



ドクター1 エース塗付け完了

4. 養生

- ☆施工完了後は表面硬化後に散水養生をおこなってください。また直射日光や風雨を避ける為、シート等を用いて養生をおこなってください。
- ☆仕上材の施工までの養生期間は夏期7日、冬期14日以上おこなってください。
- ※ドライアウト等が発生した場合、硬化不良・接着不良の原因となる場合がございます。特に高温・低温・強風などの条件下では適切な養生が必要です。

注意事項

施工上の注意

- 現場での砂、セメント等の混入は避けてください。
- 気温が0℃以下の時は弊社までご相談ください。
- 施工中及び施工後に降雨、降雪の予想される場合は施工を中止してください。
- 硬化時間は、水温、気温、保管状態により異なりますので、ご注意ください。

取扱い上の注意

- 取扱い時は、必ず保護具（保護手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用してください。
- 取扱い時は、換気の良い場所でおこなってください。
- 取扱い時は、うがい、手洗いを充分におこなってください。
- 取扱い時は、使用した工具類を早めに水洗いしてください。

応急処置

- ★目に入った場合：直ちに多量の水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ★皮膚に付着した場合：直ちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ★誤飲した場合：直ちに口をすすぎ、無理に吐かせず、医師の診察を受けてください。

保管上の注意

- 粉体は吸湿性がありますので、湿気厳禁で保管してください。

その他の注意事項

- 輸送時、落下、転倒、破損等が無いように荷崩れ防止をおこなってください。
- 廃棄する場合は、都道府県条例に基づいて処理してください。
- 粉体が混合した排水は、中和、希釈等をおこなってください。
- ご使用前に安全データシート（SDS）をご確認ください。